



町
報

よぶこ

発行 呼子町・編集 企画課・印刷 唐津印刷有限会社

町勢	
昭和50年11月末現在 住民基本台帳による	
人口	男 3,710人
	女 4,058人
計	7,768人
世帯数	2,027
一戸平均	3.83人



就学児童身体検査 (呼小にて)

もうすぐ一年生
病気は入学前
に治しましょう

来年四月に小学校に入学される子供さんの健康診断が十二月十二日午後から、呼子小学校で行われました。十二月三日から始まった町内各小学校の検診もこの日の同校で終了、百十四人が来年四月八日の入学式を待つばかりになりました。

この日健康診断を受けたのは、呼子小学校区内に住む92人の子供たち。母親やおばあちゃんと連れ立ってきた子供達は、6年生のお姉さん達が付添って面倒を見て下さるとは云うものの、慣れない小学校に緊張気味。視力、内科、聴力、身長、体重、耳鼻、歯の検診で担当は校医さんと先生達。「皆んな幼稚園や保育園に行っているしやるので、すなおで、よく云う事を聞いて呉れますよ」と先生がびつくりされる程、無邪気に検診を受ける子供達でしたが、控室ではお母さん達が心配顔でした。

就学児童の健康診断は学校側と母親たちに子供たちの健康状態を知ってもらおうと毎年行われておりますが、少しでも悪いところがありますよと云われた人は、必ず入学前に健康な生活態度待たせるようにして下さいと、町教育委員会ではお願いして居ます。

交通事故証明など

自動車安全運転センターで

1月1日から

これまで警察が行っていた交通事故証明などの手続は、来年一月一日から、特殊法人自動車安全運転センターの各都道府県事務所取扱うことになりました。

佐賀県事務所は、佐賀市内一丁目六番五号の県庁南別館内に設置されます。(所長 執行英男)

自動車安全運転センターは、警察から交通事故、運転者の運転に関する経歴等の情報の提供を受けて、関係者にこれらの情報を提供する業務でありまして、その業務の内容は次のとおりであります。

○交通事故証明書の発行
人身事故、物損事故を問わず、交通事故の証明は警察にかわって全てこのセンターで扱う。

○運転経歴証明
運転者の求めによって、運転者の免許経歴、累積点数、無事故無違反などの経歴を証明する。

○通報業務
比較的軽微な違反を繰り返す運転者が交通点数制度により、免許停止処分直前に達した場合、安全運転を促す意味で運転者にその事実(点数)の通報を行う。

これらの証明手続は、各警察署派出所、駐在所に備えてつてある申請書に記入し、郵便振替方式によって、県のセンター事務所に申請する。直接、事務所で申請することもできます。

なお、交通事故証明は四百円、運転経歴証明は六百円の手数料が必要です。
詳しくは、最寄りの警察署、派出所、駐在所にお問合わせ下さい。(電話095222④1111の内線2276、2277)

飲んだら乗るな

乗るなら飲むな

12月1日～1月10日 年末年始交通安全運動

年末、年始は、特にお酒を飲む機会が多くなります。交通事故を

なくし、みんなそろって明るい新年を迎えましょう。

みんな
そろって
明るい
お正月を

呼子町社会福祉協議会

「ゆっくり走ろう」シンボルマーク



ゆっくり走ろう5つの効用

- ①交通事故の減少
- ②騒音の減少
- ③燃料費の減少
- ④運転疲労の減少
- ⑤歩行者等の脅威感の減少

◆車を運転する方へ

▽……運転するときは、絶対酒を飲まない。

▽……酒を飲んだら絶対運転しない。

◆ご家庭の方へ
▽……車できた人には、絶対酒を出さない。

▽……家族が酒の席へ行くときや家で酒を飲んだときは、車を運転させない。

◆地域・職場の方へ

▽……酒を出す会合など開くときは、一車を運転してこないように……と案内状などで予告をする。

◆酒類提供者の方へ
▽……車できたお客からは、キーを預かり、タクシなどで帰ってもらう。

▽……運転する人には、酒を出さない。

だるう運転はやめよう

交通事故の原因の中に、未確認とか、発見のおくれ、あるいは期待運転などといったものがあります。

未確認というのは、衝突するまであるいは、衝突直前まで事故の相手方を発見できなかったことです。発見のおくれとは、相手方を

発見して急ブレーキを踏んでも間にあわずに衝突したというような場合です。これらは、考えごとをしていたり、わき見運転をしていたために起きるものです。

期待運転とは、「だるう運転」ともいわれ、相手が停止するだろう、徐行してくるだろう、この

くらいで大丈夫だろうと思って運転することをいいます。この「だるう」運転が、一番事故につながるものです。

十分注意をしながら

ハンドルをにぎりましょう

呼子警察署

「初貯金」の取り扱い

明るい町づくりにたいへん役だっている、みなさんの郵便貯金はますます好評で預金総額二十一兆円になっています。

これを記念して郵便局では正月五日より十日までの間、繰起のよい「初貯金」の取り扱いを行ないます。

②「三七〇一」へおたすね下さい。呼子郵便局

51年消防出初式は
1月6日
呼子中校庭で





美容師・理髪師さん老人ホームへ

美容師、理髪師さん 老人ホームを慰問

町養護老人ホーム「延寿荘」が昭和47年5月17日開設以来、10月9日の第一回目の慰問を最初に、毎年盆、正月及び年四、五回の慰問が続けられています。町の美容師組合の可愛い美容インスターンさんや、殿之浦の理髪店主の方達が、今年も十二月を迎え、顔なじみになった70名の御老人達の理容奉仕が行われました。

この日も中央廊下に、にわか仕立ての美容室が準備され、にこにこ顔のお年寄り約40人の方が、次に髪を切ってもらったり、顔をそつもらったりで大にぎわい。中には顔なじみとあつて、長くとか、短かくとへヤースタイルの注文も飛び出すなかやかさで。可愛い美容インスターンさん達から「いいお正月を迎えて下さいね。」といわれて「貴女もね、いい正月を迎えましょうね。」と感謝の言葉を交しあつて、嬉しそうに顔をほころばしていらつしやいました。

お子様の感電 事故をなくしましょう

子供達にとって、クリスマスやお正月を迎える楽しい冬休みがやってきました。しかし、保護者のみなさんにとっては、年末から年始にかけて、あわただしく忙しい時期となり、子供さんの面倒をみる暇さえないようです。

このような時が、みなさんの子供さんにとっては、赤信号です。少年の非行は、ほんのちよつとした誘惑や刺激がきっかけで、足

楽しい冬休み 少年をすこやかに

を踏み入れております。呼子警察署管内で十一月末までに、犯罪少年二十九人と犯不良行為少年一四〇人を補導しております。これら非行事実の特徴を紹介しますと、夏休み期間中、友人宅に無断外泊したり、夜遊びが高じて、近所の商店から一〇数人のグループでコーラやラーメンなどを盗み続けていた事例もみられております。

「お父さま、お母さまへお願い。たのしい冬休みも、もうすぐ。お子さまが戸外で遊ぶ機会も多くなります。次のことを、ぜひ、お子さまへ注意してあげてください。

● 電線の近くでのタコあげはやめましょう。

● 電柱には絶体にのぼらないようにしましょう。

● 万一タコが電線にかかった場合は、近くの九州電力営業所へ連絡してください。

連絡は②-3817へ九州電力



これらの少年を補導して感じますことは、保護者の方は、いずれも子供さんの日常生活に関心が非常に薄いことと、子供たちは、このような行為を悪いことと受けとめていないことです。

そこで、保護者のみなさんは、子供さんが家庭内と家庭外でどのような生活をおくり、どのような行動（友人や遊びなど）をとっているか、十分関心を持つことが大切です。そのためには、家庭内で子供さんたちと何ごとでも気楽に話し合えるふん囲気をつくつていくことが必要ではないでしょうか。

呼子警察署

自衛官募集

資格 記

一、昭和五十一年三月卒業予定の高校生

二、入隊

三、三月又は四月

給与

七万三千七百円（実質十萬五千元）外各種手当有り

四、その他

志願手続等細部については町役場又は、自衛隊唐津出張所（唐津②-八六九七）にお問い合わせ下さい。

「かんぽ資金」写真コンクール作品募集

郵政省簡易保険局では、簡易保険積立金融資によって建設された施設をテーマにした写真を募集しています。

ふるって作品をお寄せください。

○テーマ

簡易保険積立金融施設（学校公営住宅、公園、道路、港湾、庁舎、市場など）を題材とした明るい作品で未発表のものに限ります。

○サイズ

カラーはスライド三五ミリ以上
白黒は四つ切

（写真、組み写真いずれも可）

○作品の受付

郵便局の保険窓口

○作品の応募締切

五十一年一月十六日

○審査員

秋山青磁氏（日本写真家協会会員）ほか

○賞

カラー、白黒の両部それぞれに

推薦 一点 簡易保険局長賞

賞金五万円、トロフィー

特選 二点 簡易保険局長賞

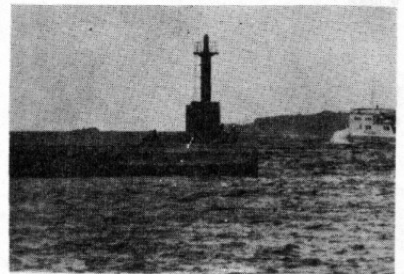
賞金三万円、トロフィー

入選 五點 簡保資金研究会理

事長賞、賞金一万円、楯

佳作 二〇点賞金二千元、副賞

参加賞 応募者全員に粗品進呈



灯台 中防波堤

呼子港中防波堤に灯台新設

国の避難港として造成された、呼子港の中防波堤南端に、このほど灯台が新設されました。

この灯台は上部円形、下部四角形のコンクリート造り。海面から十一メートルの高さ。空気電池を使い、光は三秒に一閃（せん）紅光。三百カンテラ。光達距離九・五カイリ。機械関係とも三百三十五万円かかったとのこと。

この中防波堤は延長二百六十メートル、北防波堤とも七年の歳月と二十一億二百万円の巨費を投じて、ことし二月に完成したが、工事中だった四十七年八月十一日夜、呼子港外で砂利を採取して帰港中だった砂利採取運搬船が工事を示す灯火不十分のため、衝突沈没した事件などもあったが、この灯台新設で港への出入りが安全になったと好評です。

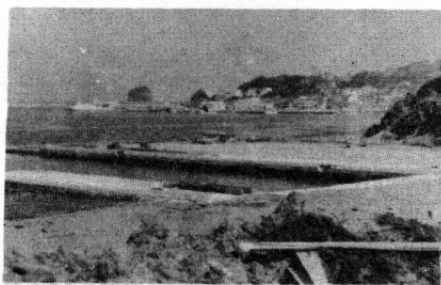
進む造船団地計画

ドックや工場建設契約へ

町内の造船業、鉄工業の各業者から、業界の近代化を図り、公害問題等に対処するため、熱心な要望の出ている、呼子造船鉄工団地の造成はその後着々と工事が進められています。

呼子造船鉄工団地協同組合（組合長寺岡哲義理事長）は11月6日から7日までの2日間融資先の佐銀呼子支店で着工に伴う細部建設診断がおこなわれました。同団地は、予備診断・本診断に伴う診断報告を、中小企業振興事業団に昨年提出していたもので、診断が終了ば用地買収をして造成事業を今年末から始める予定です。

計画では町が造成した殿之浦町営団地二万二千平方メートルのうち約九



殿之浦造船団地

千九百平方メートルの譲渡をうけ、弁天島協業組合（株式会社山口造船所）有限会社柴田造船所、山徳造船所、寺岡鉄工所、合資会社本城鉄工所、有限会社副島鉄工所、坂本鉄工所、長谷川鉄工所）と伊勢田精機有限会社、有限会社小林鉄工所、有限会社寺岡豊鉄工所の11社が参加、約三億七千三百万円で漁船用修理ドック六船台、および関連工場等六棟を建造、船舶修理と内燃機関の検査事業を行い将来は鉄鋼船を建造する計画で、造船、鉄工設備建設の早期造成が待たれています。



お誕生

十一月末現在

松本 明美（洋子 五女）宮ノ町
小出 仁子（生恵 長女）松浦町
日浦 真介（真人 長男）
多田裕美子（豊作 長女）川端町
谷口 洋章（寛 三男）
神田 惣子（耕作 三女）
松尾 栄司（賢司 二男）
江口 幹樹（国幹 二男）殿之浦西
柴田 芳男（信男 四男）小友
福本由美子（正 長女）



おくやみ

松尾庄三郎 62歳 先方町
松崎 広利 22歳 海士町
平野チヨノ 67歳 川端町
藤井ミトリ 79歳 ー
原野常太郎 58歳 愛后町
山口 ハル 86歳 殿之浦浜



高砂や

浦津 千恵（敏幸 長女）片島
金丸 正実（政人 二男）加部島
岡本 和長（庄四 二男）
川添由美子（直樹 長女）小川島

